



平成 23 年 3 月 15 日

各 位

会 社 名 セントケア・ホールディング株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 村上 美晴
(J A S D A Q ・ コード番号 2 3 7 4)
問合せ先 常務取締役財務・経理部長 関根 竜哉
(TEL. 0 3 - 3 5 3 8 - 2 9 4 3)

東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について（続報）

平成23年3月13日付当社「東北地方太平洋沖地震による当社グループへの影響について」において、当社グループでの被害の発生について発表いたしましたが、現時点で判明したお客様およびスタッフの安否確認の状況ならびに営業拠点の状況についてお知らせいたします。

記

1. お客様およびスタッフの状況について

当社においては地震発生直後の平成23年3月11日に対策本部を発足させ、現地の情報収集ならびにお客様およびスタッフの安否確認を最優先して進めてまいりました。

しかしながら、依然として被災地の通信・交通事情が悪く、情報の収集に困難をきたしている状況であり、現時点では正確な情報をお知らせできません。

当社といたしましては、現地に支援スタッフを派遣するなど、引き続き、お客様および従業員の安否確認を進めてまいります。

2. 営業拠点および建物施設等の被害の状況について

宮城県内の当社子会社（セントケア東北株式会社およびセントケア宮城株式会社）における41営業拠点のうち、現時点において、宮城県仙台市の若林営業所（訪問介護）、若林デイサービスセンター（デイサービス）、若林デイサービスセンター（地域密着型デイサービス）、泉中央営業所（訪問介護、居宅介護支援）、ホーム北根黒松（グループホーム）、気仙沼市のけせんぬま営業所（訪問介護）、南三陸町のしづがわ営業所（訪問介護）、以上7つの営業拠点において、建物に大きな被害が生じております。

3. 当社の対応、取り組みについて

当社ならびに全国のセントケア・グループ各社は、平成23年3月13日から救援物資および支援を目的とした職員の派遣を開始し、現地子会社の災害対策本部と連携して救援活動を実施しております。

現地子会社では、被災されたお客様の避難拠点として、比較的被害が少なかったデイサービスおよび小規模多機能施設を活用し、お客様の安全の確保および健康の維持に努めております。また、グループホームにおいては営業を継続しているほか、訪問介護および訪問看護については、27営業拠点のうち22ヶ所において営業を行っております。

4. 業績に与える影響について

当初、セントケア東北株式会社およびセントケア宮城株式会社では、平成23年3月の売上高として194百万を見込んでおりましたが、この震災の影響により107百万円（当初予想比87百万円減）となる見込みです。

なお、本件が当社グループの当期連結業績に与える影響につきましては、今後状況が明らかになり次第発表いたします。

以 上